



2026年7月15日

日本鉄道労働組合連合会

J R 西 労 組 第 3 8 回 定 期 中 央 本 部 大 会

安全を基礎に組織の力を高め、全員参加で未来を創ろう！

J R 西 労 組 は 7 月 9 日 ～ 10 日、大阪市内において第 38 回定期中央本部大会を開催した。代議員・傍聴など総勢約 550 名の参加のもと、2026 年度の運動方針を満場一致で決定した。来賓として井尻雅之連合大阪会長、西村誠近畿交運労協事務局長などを迎える中、J R 連合からは上村良成会長と宮野勇馬企画局長が参加した。



羽野敦之中央執行委員長（J R 連合副会長）は、主催者挨拶で「『世界一安全な鉄道』をめざし、引き続き A B C 運動、凡事徹底を訴える。一方で、グループ会社との賃金格差の是正や技術継承は喫緊の課題であり、魅力ある産業を構築する」と述べたほか、組織強化・女性参画、政策・政治の運動の必要性を訴えた。



羽野委員長



上村会長

上村会長は来賓挨拶で、昨年度 J R 連合全体で 9 名が労災で死亡したことに触れ、危機感を共有した。また、組織拡大の重要性、女性役員の育成、整備新幹線の建設に関する国土交通大臣への要請、ローカル線の課題、継続的な労働条件向上の必要性、連合・交運労協、政治との連携の重要性を訴えた。

議事では、執行部から 2026 年度の運動方針等が提起され、本会議 15 名に加え、J R 西 労 組 を 特 徴 づ け る 各 小 委 員 会 に お い て も 熱い質疑（組織・財政 39 名、安全・業務・ワーキングイノベーション 45 名）を受けた。安全確立、組織強化・拡大、誰もが参加しやすい活動、各種取り組みの課題、系統を超えた繋がり的重要性、各種業務課題、労働協約改訂交渉、賃金・昇進制度の見直し等について意見が出され、川端準一書記長（J R 連合執行委員）の総括答弁の後、全ての議案が満場一致で可決された。

また、一日目終了後のレセプションには J R 西 日 本 の 倉 坂 昇 治 社 長 も 来 場 し、様 々 な 業 務 を 日 々 遂 行 し て い る 組 合 員 に 対 し お 礼 を 述 べ た。また、三日月大造滋賀県知事も駆けつけ、当選の報告を行うとともに、日頃の支援に感謝の意を表した。

最後に、羽野執行委員長の団結がんばろうで、魅力ある J R 西 労 組 運 動 を 継 承 ・ 発 展 さ せ て い く 誓 い を 新 た に し た。